

名古屋市 植田東地区

事故対策の必要性

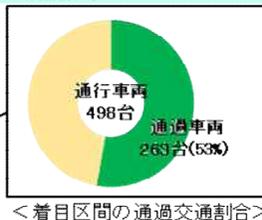
- 当該地区のうち国道302号高架下を通る市道が、抜け道利用されている。
- 通学路であるにも関わらず、車両の走行速度が極めて高い。



＜現地の道路交通状況＞



【出典】ETC2.0プローブデータ 期間：H27.4～H28.3



＜着目区間の通過交通割合＞



＜着目区間の速度分布＞

対策案・計画平面図

- 地域住民の代表や学識者で構成した検討会等を通じて、狭さく設置による速度抑制を計画。

対策①：狭さく(3箇所)



合同現地
点検→

＜取り組み状況＞



車両の速度抑制、通過交通の削減を目的に、市道に狭さく(3箇所)を設置



＜狭さく設置箇所・イメージバース＞

整備効果

- 狭さく設置区間で平均旅行速度が低下しており、高速車両の割合も顕著に減少。
- 細分化した区間で検証すると特に狭さく付近は顕著に速度が低下しており、その前後区間でも高速車両の割合は減少。

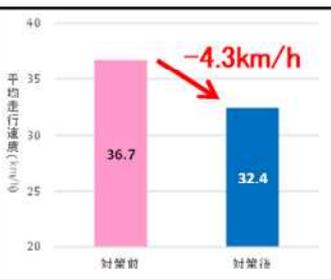


狭さく①



狭さく②

狭さく③



＜平均旅行速度＞

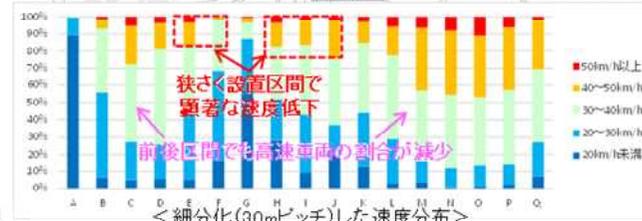
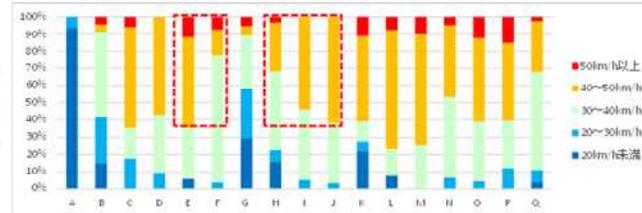


＜速度分布＞

【出典】ETC2.0プローブデータ 対策前：H28.04.01～H28.07.31 対策後：H29.04.01～H29.07.31

【対策前】

【対策後】



＜細分化(30mピッチ)した速度分布＞